

S S T L

NO. 74 2021. 12. 6

職場参加ニュース

<地域共生社会>

ってなに?

足場、一歩、迷いを語り合おう

第一部：特別報告

八王子ワークセンターのこれまでとこれから

土居 幸仁さん (NPO 法人八王子ワークセンター代表)

第二部：パネルディスカッション

「地域共生社会」ってなに?

足場、一歩、迷いを語り合おう

土居 幸仁さん (NPO 法人八王子ワークセンター代表)

竹内 善太さん (志木市障がい者基幹相談支援センター相談員)

古田 久美子さん (地域活動支援センターパタパタ施設長、障害当事者)

コメンテーター：

越谷市地域共生部 地域共生推進課 副課長 内田 元洋さん

越谷市福祉部 障害福祉課 調整幹 齊藤 秀樹さん

コーディネーター： 朝日雅也さん (埼玉県立大学教員)

✍ パネルディスカッション終了後、共に働く街をめざす自治体提言案を発表します。
なお、新型コロナウイルス感染状況等に応じて、人数制限やリモート開催または併用などの対応をさせていただく場合があります。

お問い合わせ：職場参加ビューロー世一緒
〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101
☎048-964-1819 (FAX 共 9回コール要)
メール：shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

共に働く街を創るつどい2021/とき*12月12日(日)13時~16時/ところ*越谷市中央市民
会館5F第4、5、6会議室/手話通訳有/資料代*会員500円・非会員700円/主催* N
PO 法人障害者の職場参加をすすめる会/後援*越谷市・春日部市

「地域共生社会」ってなに？ — 足場、一步、迷いを語り合おう

共に働く街を創るつどい2021 趣旨

■職場参加で街づくり

昨年の「共に働く街を創るつどい2020」に引き続き、今年も2018年から施行された改正社会福祉法に掲げられた「地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進」について、考え合います。

昨年は地域共生社会のイメージからともすれば忘れられている、さまざまな障害者が「共に働く」地域の創出について考えました。障害者就労というと、一般には障害者に特化した就労枠や福祉サービスの方としてのイメージが流布していますが、そうした既成観念をこえて共に働こうと試みている具体的事例として、プラットフォーム型ソーシャルファームをめざす取り組みや、障害者と共に働き街を元気にしている町工場、生協活動から生まれた事業所での共に働く試みなどの報告をいただいて語り合いました。コーディネーターからは、「**職場参加の街づくりではなく、職場参加で街づくり**」。重度の障害者も医療を必要とする人も、さまざまな工夫・支援をしながら地域の一般職場に入っていくことで、災害時の復興や事業継承や伝統文化保存の担い手の課題解決にもつながるのではないかとまとめていただきました。

■職場参加は重度障害者の自立生活・ 共生活動の中から生まれた

「職場参加」という言葉自体は、埼玉の一部以外では用いられていませんが、中身では共通していると考えられる取り組みは全国に散見され、つながりを重ねてゆくことが課題といえます。そもそも「職場参加」は、四半世紀前の重度障害者の自立生活・地域共生の活動の中か

ら生まれました。障害の種別・程度により地域で分け隔てられるのではなく、他の人々と一緒に生きてゆこうと活動してきたが、それ自体が障害当事者とその支援に関わる人びとだけの閉ざされた関係になり、「見えない施設」になってゆくのではないかと。街やご近所や活動の場だけでなく、重度者等にはハードルが高い「職場」にも、まずは爪先からでも参加して新たな出会いを切り拓いて行こうと。それが出発点でした。

■「地域共生社会」—小さな密室化に 陥らないためには

「職場参加」の原点にあった懸念は、今もなくなるどころか、福祉が規制緩和され市場競争の場となり、行政は監督・調整役に変る中で身近な現実となっています。障害者問題だけでなく、少子高齢化社会の危機として、2025年問題、2040年問題が語られ、社会資源の効率的配分のシステムとして改正社会福祉法の「地域共生社会」が議論されています。

津久井やまゆり園事件では「しゃべれない」障害者が狙い撃ちにされ殺されましたが、「しゃべる」ことはまさに相互関係以外ではなく、関係を奪われていた者が生命をも奪われました。「地域共生社会」が地域に入所施設に代わるサービスを張り巡らすことにより、小さな密室を量産し、地域からさまざまな関係を消滅させてゆく結果に陥らないか、いっそう懸念が深まります。

こうした状況を踏まえ、今年の「つどい」では、東京、埼玉の他地域で長年、共に働き、共に生きる活動に取り組んできた方々から、その足場となっている活動の歴史と現状、当面踏み出そうとしている一步について、また悩みについて、お話しいただきたいと考えています。

職場・地域ひろがりつうしん



●わらじ大バザー大盛況でした

総合県交渉、書面回答受けネット会議

1987年から続けてきた総合県交渉ですが、今年
はコロナにより書面回答にさせてほしいとの依頼を
県から受け、また8月18日に予定していたちんぽん
パレードも事務局の判断で中止とし、代わりに当
日ネットワーク会議が行われました。実際に集まった
20人と、ZOOMで10人弱の参加で、各地のグル
ープ、個人と課題や思いを共有できているのかとの
声も出されましたが、地域を離れられずZOOMだ
からこそ会議に参加できるようになった人もいま
した。全県的な共生・自立の地域活動のつながりの今
後について問い直しが必要と語り合われました。

11月7日(日)に千間台西第4公園にて、わらじバ
ザー2021が開催され、秋晴れの下たくさんの人
が集まりました。すでに44年の歴史を歩んでき
たこのバザーですが、今年も服、おもちゃ、雑貨
などたくさんの商品が並びました。また、生協のデ
ポールのPR、水上プロレスなどのイベントも盛りだ
くさん。そんな中で、世一緒スタッフたちもあちこち
の持ち場で活躍していました。先日就労中の息子
さんのご両親が世一緒に相談に見えた、そのご
本人も準備作業を含めて溶け込んで動いていま
した。みなさん、お疲れさまでした。



9月11日(土)午後、当会事務局の山下と日吉が
「労働者協同組合法」制定記念フォーラム in 埼玉に
ZOOM参加しました。当会は労働者協同組合に組
織改編することは当面ないけれど、地域に労働者協
同組合が増え、その職場に少しずつさまざまな障害
のある人びとが参加してゆけるようにできればとい
うスタンスです。ワーカーズ・コレクティブのむすび食
堂、青いそらの皆さんなどのお話を聞きましたが、あ
る意味真逆の関係にあるからこそ、ワーカーズコー
プ全体の組織というより、今回のようにひとつひとつ
の地域活動との出会いが新鮮でした。



③

11月24日(金)県営しらこばと水上公園花壇整備
共同作業を行いました。当会が公益社団法人埼玉
県公園緑地協会から年間を通して受託し、地域の他
障害者施設に呼びかけ共同作業を行ってきました。
今日は6施設26人参加。この日でパンジー、ビオラ
の苗1720株の移植を完了しました。霜柱でたくさん
の苗が倒された冬もあり、そんな中から工夫してき
た作業。瑞々しく咲き誇る花々をぜひご覧ください。

③

協働が土台としてありました。

今回、八王子ワークセンターから土居代表をお招きするのは、同ワークセンターが「八王子流」と呼ぶべき諸活動の合流が前提にあり、都、八王子市独自の施策が作られてきた経過を含め、学び合いたいからです。

八王子から眺める 埼玉・越谷の風景は？



写真：リポーン・八王子ワークセンターでの交流

〇つぎの「一歩」はたとえば

あらためて「足場」を踏み直しながら「一歩」を進めることが問われています。たとえば、国では「地域共生社会」が語られ、「入所施設からの地域移行」や「福祉施設からの一般就労」も進んだと言われますが、ノーマライゼーション、インクルージョンの母国では入所施設、就労訓練施設等を閉鎖し、退路を絶って地域生活や一般就労に切り替えたのです。それができない日本社会では、つどいの趣旨で述べたように地域社会の一層の分断、小さな密室化に向かう怖れが深まっています。

現実的な一歩を考えるとすれば、「入所施設にしながら墓参りや知人宅に泊まりに行くための介助者を利用できる」、「福祉施設にしながら職場体験やアルバイトの機会を得られ支援者を利用できる」といった施策の相互浸透ではないでしょうか。そのための介助者、支援者もヘルパーではなく、全身性と同様に資格を問わないことが必要です。また、職場体験を受け入れる企業に対する現行の県の助成制度の要件を拡大すること、とりわけ市町村、県庁の職場において職業準備性不足、就労困難性大とされる障害者の職場体験、アルバイトの試行を重ねることが重要です。

〇「迷い」の下での日常を語り合う

福祉が市場化された今、見栄えがよいサービスが溢れ、「障害者転がし」、「障害者増産」が横行し、介助や支援に関わる人びとの現実は一ワキングブアという現実の中で、地域・職場の大半の人々はますます蚊帳の外に置き去りになり、生きづらさを増してゆきます。でも、そんな流れの中にある今だからこそ、重い障害者といわれる人も含めて一緒に暮らし、働くあたりまえの日常一つ一つが前にもまして輝くのではないのでしょうか。親・本人の高齢化、介助・支援の人手不足、事業の危機等々・・・の中から、共有したいエピソードを語り合えればと思っています。

〇共通する「足場」の確認から

つどいの趣旨で述べた自立生活・共生活動は、70年代以降の欧米をはじめとする全世界的な活動と連動しながら、なお日本独自の社会のあり方（世間、しがらみ、同調圧力・・・）に根差したさまざまな活動を含んでいました。90年代後半に「職場参加」を生んだ埼玉では、80年代後半から「共に学び・育ち・共に働く」、「自立生活・共に生きる街づくり」、「差別告発・生き様をさらす」という別々の流れが出会い、「埼玉流」と呼ばれるつながりをもつようになりました。

既存の障害者団体が福祉施策や障害児教育の充実要求を運動の中心に据えていたのに対し、あたりまえに近所の学校で学ぶとか、乗客の手を借りて電車に乗るとか、共に働く店を運営するなど、自らが動いて一緒に生きる姿を示し、これまで障害のある人の存在を考えに入れずに作られてきた一般の教育・交通・産業・都市施策のありかたを問い直していきました。「かくあるべし」ではなく、「こうして一緒に生きている実態を支えられる施策に」という地点からの投げかけなので、市町村そして県との協働、福祉を越えたさまざまな分野の地域団体との協働も具体的であり、それらを重ねる中で、少しずつ施策の見直しもなされてきました。

この「埼玉流」との関係で成立した県施策で現存するのは、全身性障害者介助人派遣事業、生活ホーム、地域活動支援センター、県公立高校入試の措置願、県庁内福祉の店かっぽ、市町村就労支援センター等です。当然、越谷市、春日部市との

すいごごカフェトーク集



2021年6月30日
須田涼太さん
(埼玉県立大学卒業生)

【病気と共にがむしゃらに生きた人生の踊り場で】

生まれは野田市。1995年生まれで今25歳。一人っ子。

私は生まれた時から、血友病という血が止まりにくい先天性の病気。小さな頃はほとんど入院生活で、夜眠ることもできないくらい痛みが甚だしいものだったが、死に物狂いでリハビリをやり、今はなんとか杖で歩けるようになった。大学卒業後は障害者就労支援センターで3年間勤めたけど、今は無職。辛いこともいっぱいあったけど本当に周りに恵まれてきた。障害者の立場、就労相談員をしていた立場、そして今仕事を探している立場をこれから活かしていきたい。



7月21日 沖山稚子さん (障害者職業支援の草分け)

【定年退職後さまざまな支援の場で働いて】

支援を必要とする方々への対応を担う職員、これをワーキングプアが担っている状態が、いまいたるところにある。定年退職後、さまざまな分野で働いてみてわかった。相談にあたっている側が来年度も契約できるかわからない状態では、相談する側だって安心できない。ソーシャルワークというのは出来合いの業務でできることはほとんどなく、向こうが閉めようとしているドアに、そうじゃないでしょって割り込んで探っていくことが大事なのに。



8月4日 橋岡大介さん
(くらしセンターべしみ通所者)

【ただ今グループホームで一人暮らしの練習中】

1978年(昭和53年)12月1日に未熟児で生まれた。目は3歳の時から弱視で、距離が遠くなるほどぼやけて見える。耳も3歳くらいから悪くて、今も難聴。2000年(21才の時)から毎週金曜のべしみ陶芸教室に通い始めた。2008年からはべしみの通所者

1994年8月24日第三種郵便物承認

になって、陶芸の他にクッキーやパンを作るようになったし、市役所販売や越谷市の農業技術センターでの実習もやった。昨年12月からG^{グループホーム}Hに入居して、1人暮らしの練習をしている。最初は職員が料理してくれてたけど、今はヨシケイで頼んでるからおかずの量がすごく少なくて食べ足りないなど、問題はいろいろある。自分の家を買いたい思いと、ずっとGHにいてもいいかなという思いで揺れている。



9月8日 飯田渉太さん(くらしセンターべしみ通所者)

【時代の流れ見極めて発信を】

22歳。神奈川県茅ヶ崎市の病院で生まれて3、4歳の時から越谷育ち。2～5歳まで肢体不自由児のためのあけぼの学園(現・越谷市児童発達支援センター)に通って、その後は越谷の特別支援学校に入学した。今はくらしセンターべしみ通所者。5年程、週に3、4回放課後デイサービスに通っていたんだけど、カレンダー作りやお菓子作り、遠出などして楽しかった。僕自身ILP(自立生活プログラム)や生活ホームオエヴィスでの体験入居を経験してるけど、こういう放デイとかが一般化した時代に、そのありかたを含めて若いお母さん達にどう発信していくか、それが大事なのかなと思っている。



9月15日 植田恵子さん
(こしがや 絵本館代表)

【生涯現役で続けていきたい絵本館】

フリースペース こしがや絵本館は1999年11月1日から始めた。絵本や美術館のカatalogや写真集などを置いていて、なるべく無添加物や無農薬のものを出している。いろんな団体の活動のチラシを預かって置いたりもしている。実際にうちでやる催し物はミニコンサート、講演会、勉強会など。手作り品の委託販売も請け負っているので作品がいっぱいある。やっぱり土台は人であって、細やかな感情とか、優しさとかが必要だと思っているので、絵本館は交流の場としていろんな人同士で触れ合いながら、来てくれる人を助けられるような、そんな場所であり続けたい。皆さんもどうぞ絵本館に来てください。

すいごごカフェ 12/1~12/22 1時半のゲスト 	
12月1日(水) 辻 彩子さん ベしみ職員	<h2 style="color: #0056b3;">自立の伴走者達の歴史</h2> <p>わらじの会の重度障害者たちが生活ホーム、全身性、生保を獲得し自立生活運動の時代を切り拓いた背後には、いまは閉校となった共栄短大の学生・教員たちの群像があった。その中にいた一人が初めて語る。</p>
12月8日(水) 山脇 雅史さん 多摩川マスター	<h2 style="color: #0056b3;">命の光をカリンバで</h2> <p>命の光をカリンバで、相手と世界と宇宙全体。直接はもちろん、遠隔でも送りたい。多摩川、町田、江の島、熊谷へチャリを走らせ、ライブで交流の日々を共有。</p>
12月15日(水) 増田 純一さん 川口ねこのて Lunch Café どっこいしょ 12じ〜	<h2 style="color: #0056b3;">地域で共にはつらいよ</h2> <p>越養小学部でわらじの会の先輩川口とうなす会に参加、高等部時施設入所を勧める親から事務所へ家出、会解消後も車イスで一人せんべの行商で生き抜く。現在介助を入れアパート生活。県庁内かっぱ販売の人気者。</p>
12月22日(水) 大野 弘幸さん 元就労支援員	<h2 style="color: #0056b3;">未 定</h2> <p>この日の会場はせんげん台西ロイオン並びの多機能事業所「世一緒」で。ほかの週はハローワーク越谷向かいの職場参加ビューロー世一緒で開催します。</p>

2021 年度会費、寄付、協力会費を納入いただきました(五十音順、敬称略)

【2021 年度会費】

青木繁明、浅草秀子、朝日雅也、石田貴美子、伊藤峰子、上野豪志、内野かず子、大坂富雄、大武昭、大塚眞盛、沖山稚子、尾谷英一、及木聡、黄川田仁志、木下恭子、佐々木洋子、佐藤恵美子、佐藤秀一、澤則雄、清水泉、島根淑江、鈴木照和、関一幸、竹迫和子、田島玄太郎、巽孝子、巽優子、谷崎恵子、津崎悦子、中山佐和子、並木理、西陰博子、野村康晴、長谷川顕、原和久、原田真弓、樋上秀、日吉孝子、正木敬徳、松田典子、水谷淳子、森田譲二、谷塚祥子、山川百合子、山崎かおる、山崎茂、山崎有子、山崎泰子、山下浩志、山田裕子、吉田久美子

【2021 年度寄付金】

糸賀延江、植田恵子、岡本信子、沖山稚子、木下恭子、仕事おこし懇談会、白倉保子、田島玄太郎、富沢一枝、西陰博子、野村康晴、長谷川顕、原田真弓、平野栄子、水谷淳子、谷塚祥子、山下浩志、山田奈緒、山本高行

職場参加をすすめる会

2021.11.1~2022.1.31 暫定版カレンダー

(2021年11月18日 暫定)

2021年11月			2021年12月			2022年1月		
日	日中行事	ほか	日	日中行事	ほか	日	日中行事	ほか
1日	月上公園共同作業		1日	世一精進舎会集	すいご(後藤子さん)	1日		
2日			2日			2日		
3日	水	たそがれ	3日		せんげん舎(一子)さん	3日	月	火
4日	木		4日			4日	火	水
5日	金	らこぼろ	5日			5日	水	木
6日	土	わらじ大バザー-搬入	6日			6日	木	
7日	日	わらじ大バザー-@千間台第4公園	7日			7日	金	土
8日	月	水上公園共同作業	8日		すいご(山梨さん)	8日	土	
9日	火	緑谷水辺の市	9日		たそがれ	9日	日	月
10日	水	世一精進舎会集	10日		らこぼろ	10日	月	火
11日	木	たそがれ	11日			11日	火	水
12日	金	水上公園共同作業	12日	共に働く街を創るつどい'2021		12日	水	木
13日	土		13日	水上公園共同作業		13日	木	
14日	日	わらじ大バザー-予備日	14日	緑谷水辺の市		14日	金	
15日	月	水上公園共同作業	15日	職場参加を贈る会	Lunch Cafe どんこ(上木さん)	15日	土	
16日	火	水辺の市-予備日	16日		たそがれ	16日	日	月
17日	水	職場参加を贈る会	17日		らこぼろ	17日	月	火
18日	木	たそがれ	18日			18日	火	水
19日	金	水上公園共同作業	19日	わらじの会みんな一緒にのクリスマス		19日	水	木
20日	土		20日		すのぶる会集	20日	木	
21日	日		21日			21日	金	
22日	月	水上公園共同作業	22日	ピアサポート研究会	せんげん舎(すいご大野さん)	22日	土	
23日	火		23日		たそがれ	23日	日	月
24日	水	ピアサポート研究会	24日		らこぼろ	24日	月	火
25日	木		25日			25日	火	水
26日	金		26日			26日	水	木
27日	土		27日		サイウササキヤ	27日	木	
28日	日		28日		(水上公園手エツク作業)	28日	金	
29日	月		29日			29日	土	
30日	火		30日			30日	日	月
31日			31日			31日	月	

の中は、リハビリを兼ねた1~3時間内の屋外のアルバイトです。グループでやるので、初めての方でも大丈夫です。

は、素焼きの焼酎の絵付けと、その普及・販売のための研修や営業活動です。

は、障害のある人や他の人々が日替わりゲストとなって、暮らしや仕事を語り継ぎます。あなたもどうぞ！

は、障害のある人や他の人々が日替わりゲストとなって、暮らしや仕事を語り継ぎます。あなたもどうぞ！

は、障害のある人や他の人々が日替わりゲストとなって、暮らしや仕事を語り継ぎます。あなたもどうぞ！

は、障害のある人や他の人々が日替わりゲストとなって、暮らしや仕事を語り継ぎます。あなたもどうぞ！

は、障害のある人や他の人々が日替わりゲストとなって、暮らしや仕事を語り継ぎます。あなたもどうぞ！

世一緒スタッフ日記

仕事とつきあいと暮らして

新井 里佳

今は、あすなるの郷の清掃の仕事を頑張っています。仕事は今是一年たちました。仲間とも仲よくやれています。仕事は、だんだん覚えてきました。

仕事が終わりの日は、友野さんの夜の介助もやっています。

今は病院にも月に1回通っています。薬ものんでいます。家の手伝いもやっています。今は、いろいろと頑張っています。

新しい仕事をしています

伊藤 峰子

二〇二一年八月十日からダンボールを外にもっていくしごとをしています。なにをどこにおいていいかわからなくなって人にきいたり中の仕事の人がつかっているかどうをそとに運ぶ仕事をやらせてもらっています。わからない事があっても人に聞けるようになりました。しばらくしてからやっと人に聞けるようになって来ました。

そうじもやりながら新しい仕事

二〇二一年十二月六日発行(毎月十二回 二と四と六と八の日) 通巻五二三四号

一九九四年八月二十四日第三種郵便承認
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 〒333-0851 川口市芝新町十五-九 アステール藤野1F

世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し生きるために、世一緒に関わっている人々を「スタッフ」と呼んでいます。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポート実習)や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事(花壇整備、除草、ポスティング)のグループワーク等もしています。
(*注) スタッフ等からの近況報告も紹介します。なお2018年4月からはせんげん台に就労移行支援事業所「世一緒」が開所しました。こちらは制度により定められた職員がおり、通所2年の間に一般就労への支援サービスを提供する場となっています。当会は定められた支援ももちろん、自主事業の世一緒(越谷)と連携して、多様な就労やピアサポートも可能な展開をめざします。

をしていから大変。二〇二〇年七月二二日に弟と碧さんの所に赤ちゃんが出来ておぼちゃんになっちゃった事私にめいっ子が出来てとてもうれいしです。

他の人にKどうしたのと聞かれせいそうしていると私がAさんに言っています。Kさんがいなくても私一人です。やる事が出来るから大丈夫。

しせつがいとフラダンス

山崎 有子

しゅうろうけいぞくA型越谷スタラで働いています。おもにしせつがいがんばっています。

しせつがいでは八潮の会社にいます。九月に新しくにゅうしよくした人のめんどろをみながら仕事がんばっています。その人に私がテープのはりかたをおしえたらサーボタさんにほめられて良かった。

友達とウイレレ・フラダンスならいはじめました。今年の十一月二〇日越谷市民文化祭に出ます。水辺の市でフラをやりますたのしみです。11月20日越谷市民文化祭でおどる曲はポップ曲ワイキキおどります。

たのしみにしています。タンクポのしみにしています。8月ぐらいからふつきしまのイベントではじめてカイイました。今ほたいちようもよくなったのナマヒラおどってすぐ良かったでした。これからもフラーにがんばります。

けんこうでがんばりたいと思います。

つかの間の季節

樋上 秀

蝉しぐれすぐそこにある八月六日五波六波間に入れる秋桜

ノンアルも酔って養老の千葉の山サイレン鳴りやまぬ間に恋の予感御先祖はもう死んでいと帰省することコロナより怖いのは忘れられることが孫が手ぐすねをひく年金日つかの間の波おだやかに秋の月秋深し隣はうるさい人ばかり喜びと苦労とともにバザーかな

27年がんばっています

伊原 尚子

私はきよねんの12月ぐらいからた

いちようをくずして仕事をやすんでいへんです。それでも27年がんばっています。ことしも、あと1年しかありません。これから2月か3月ぐらいからさむくなると思いますので、体いたいちようかんりに気をつけます。

B型で頑張ります

石丸 洋介

私はせんげん台世一緒に通所させて頂いてから早くも二年弱になり、最近以前までは体調不良だったり、事情で通所ができなかったりと有りましたが、色々職員さんに助言してもらい、世一緒に通えるようになり、外へ出て動くことよって、体も心もポジティブになりよかったです。言い方は悪いですが多機能事業所B型の契約をし、一般就労に向けて頑張っていきたいと思えます。これからも宜しくお願い申し上げます。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

〒344-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 世一緒内 (ハローワーク斜向かい)

048-964-1819 (fax 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp http://www5b.biglobe.ne.jp/~yellow/

